

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

富士ダイス株式会社

代表取締役社長 久保井 恒之

アジェンダ

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 会社概要 | P2 |
| 2. 2022年3月期 第2四半期 業績概要 | P10 |
| 3. 2022年3月期 業績見通し | P16 |
| 4. 中期経営計画の進捗 | P20 |
| 5. 参考資料 | P29 |

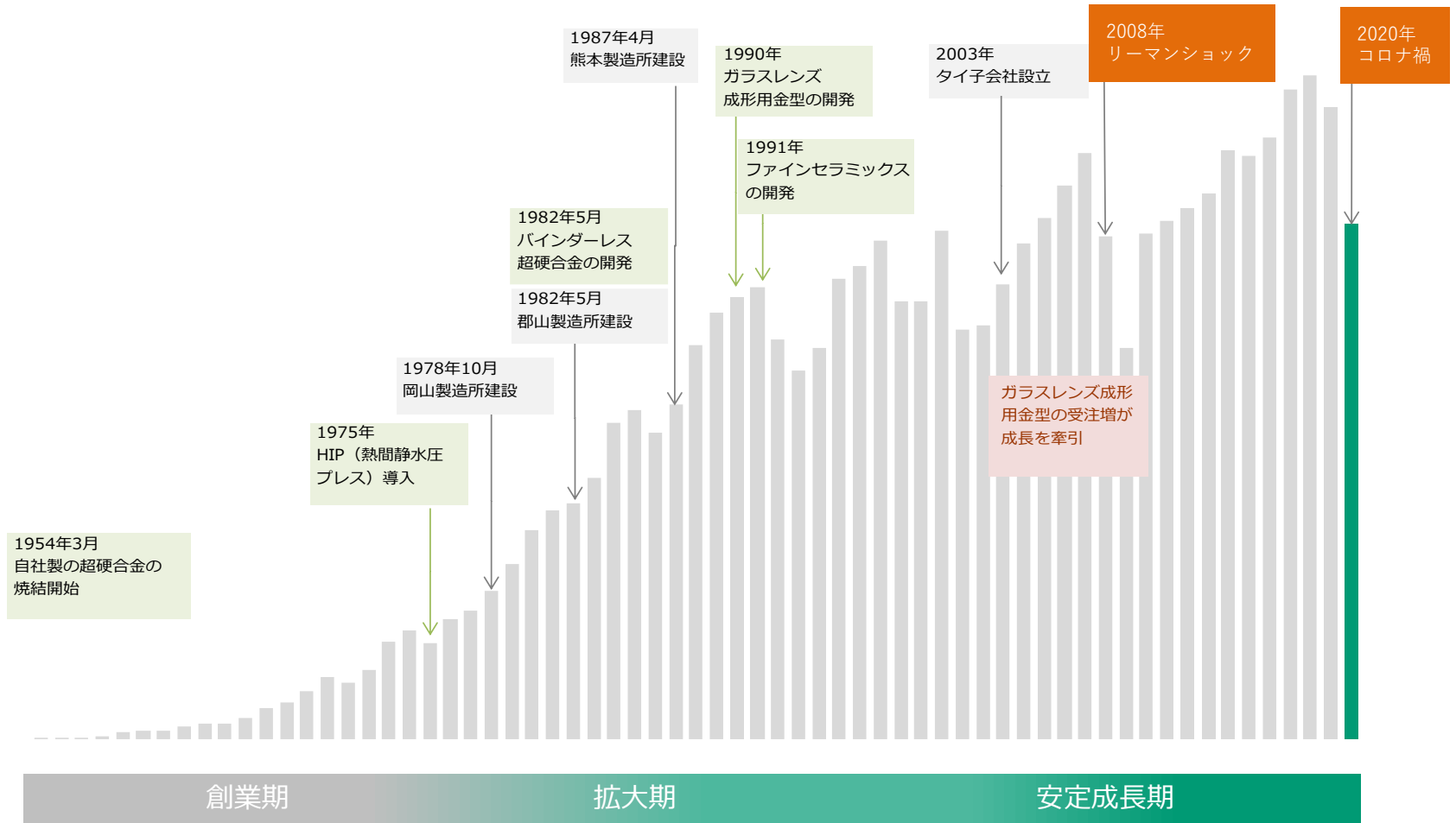
01

会社概要

会社概要（2021年9月現在）

商号	富士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役社長 久保井 恒之
創業	1949年6月
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造・販売
従業員数	1,139名（2021年3月期末時点、連結）

主な沿革と売上高推移



(注) 2012年度以降は連結売上高

富士ダイスの企業理念・大切にしている価値観・長期ビジョン

企業理念

- 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- 人間尊重、人間中心の経営

基本的な考え方（私たちが大切にしている価値観）

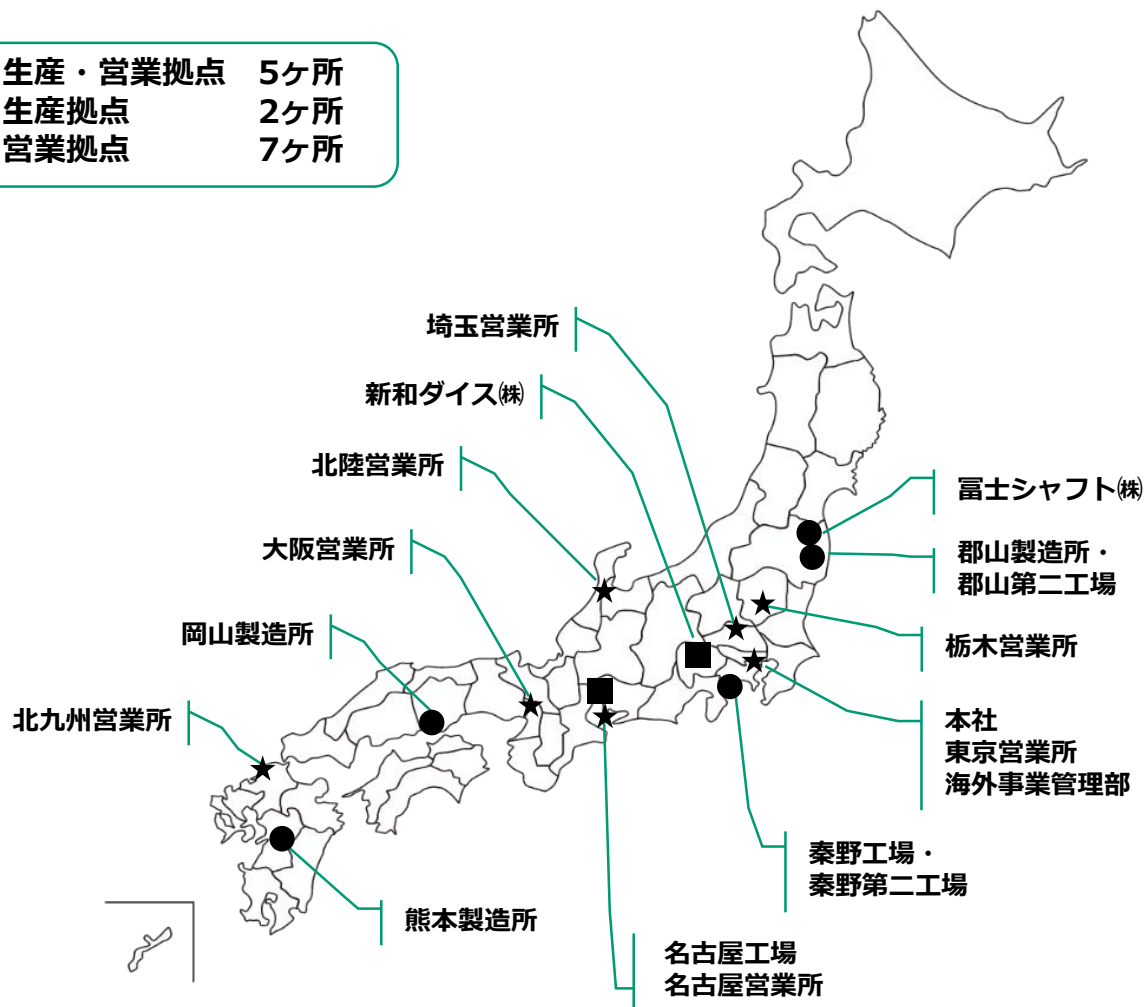
- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

長期ビジョン

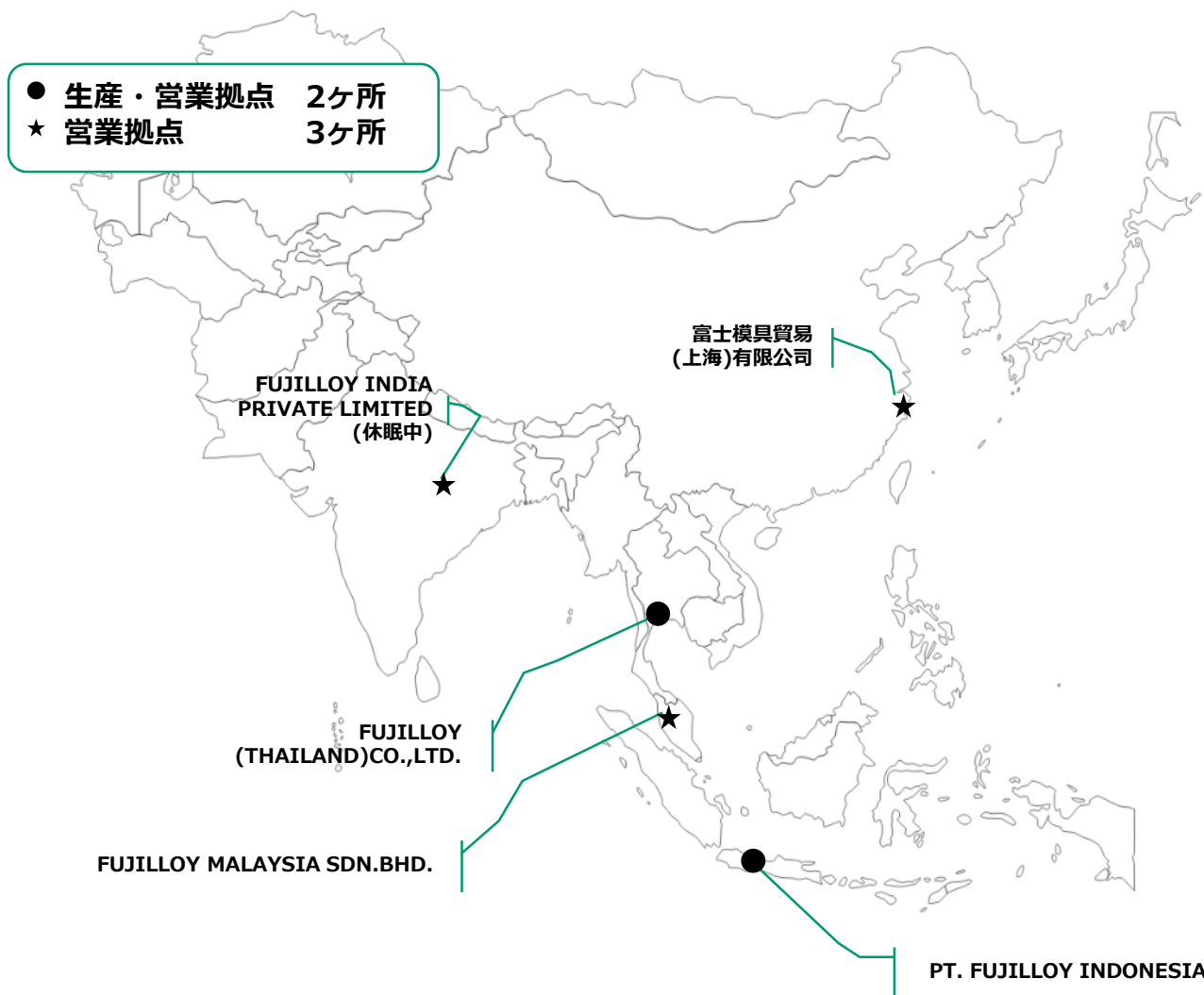
1. 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
2. 品性ある企業グループ並びに企業人

拠点ネットワーク（国内）（2021年9月現在）

- 生産・営業拠点 5ヶ所
- 生産拠点 2ヶ所
- ★ 営業拠点 7ヶ所



拠点ネットワーク（海外）（2021年9月現在）



当社の特長 ハイライト

超硬耐摩耗工具市場で**トップシェア**

国内超硬耐摩耗工具業界では当社は長期に亘り、トップシェアを堅持
多品種少量の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

業界シェア
30%以上

開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

幅広い業種の顧客獲得

高度な粉末冶金技術、豊富な素材開発実績

熟練した技術集団と最新鋭の加工設備

取引社数
約3,000社

財務基盤：黒字経営を継続し、**高い自己資本比率**を維持

ネットキャッシュ 6,512 百万円

フリーキャッシュフロー 1,200 百万円

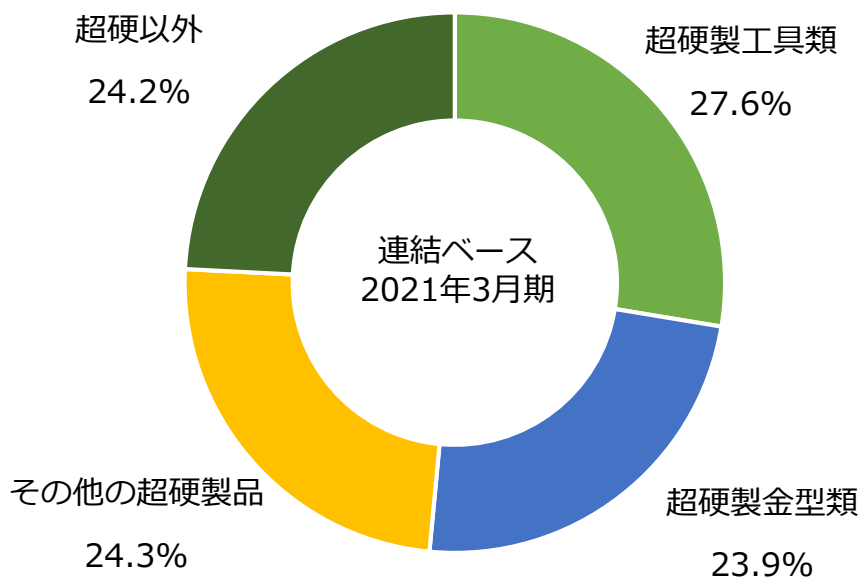
自己資本比率
79.4%
(2021年3月期末)

事業内容

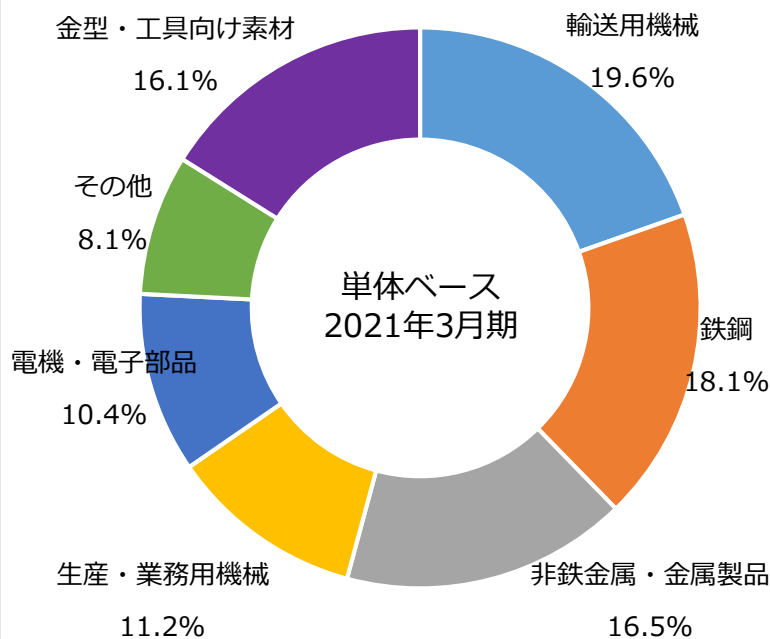
超硬合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造

～強み～
粉末冶金技術
超精密加工技術

【製品区分売上構成】



【顧客産業分類区分売上構成】



2022年3月期 第2四半期
業績概要

2022年3月期 第2四半期までの事業環境

鉨工業生産指数

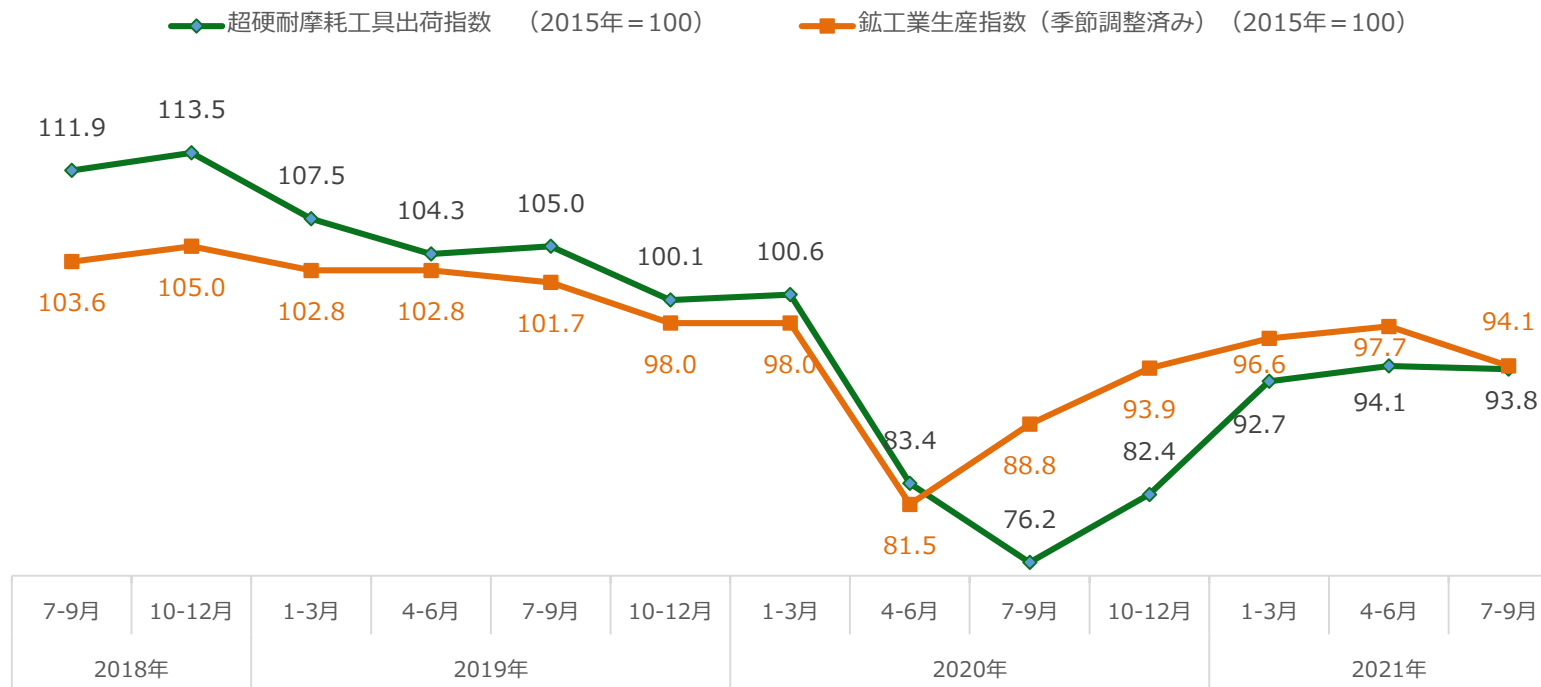
- 2021年7-9月期の自動車の生産減が大きく影響して低下
- 2021年7-9月期は4-6月期と比較して横ばいで推移

鉨工業生産指数

▲3.6

(2021年4-6月と比較)

鉨工業生産と超硬耐摩耗工具出荷 指数推移



出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』
経済産業省 『鉨工業指数』

2022年3月期 第2四半期 ハイライト

連結売上高 **8,363** 百万円 (前年同期比123.8%)

連結経常利益 **716** 百万円 (前年同期は▲122百万)

- 連結売上高、連結経常利益ともに前年同期の業績を上回った
- 自動車生産の回復により、冷間フォーミングロール、押出金型、棒鋼・線材用ダイスの販売が堅調に推移
- 半導体需要の拡大が続いており、関連する金型・金型素材の販売が好調に推移
- 車載電池用金型の販売、自動車の電動化に伴う金型素材の販売が増加

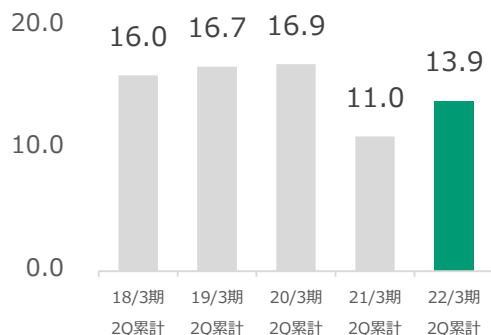
主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）

主要産業分類別概況

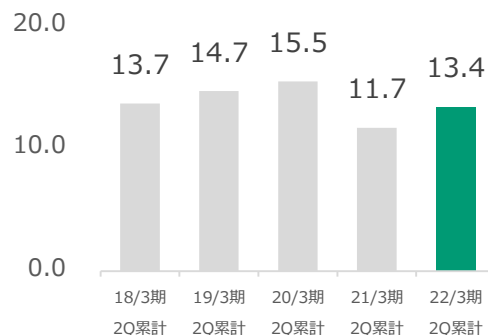
- 半導体需要の拡大が続いており、関連する金型・金型素材の販売が好調に推移
- 車載電池用金型の販売が増加し、一部の自動車部品用金型の販売が低調に推移

（単位：億円）

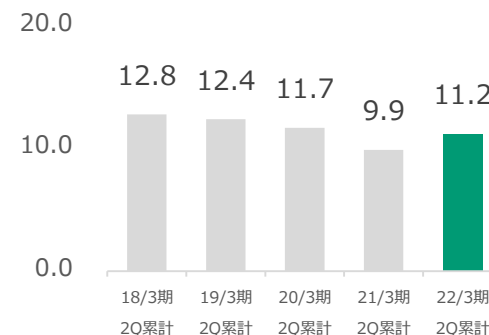
輸送用機械



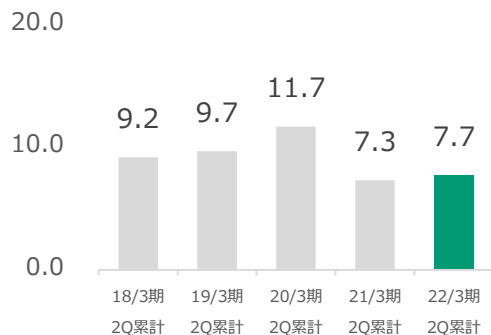
鉄鋼



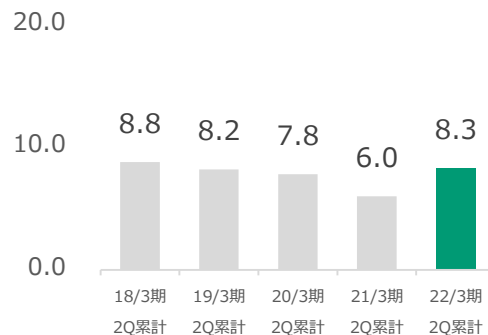
非鉄金属・金属製品



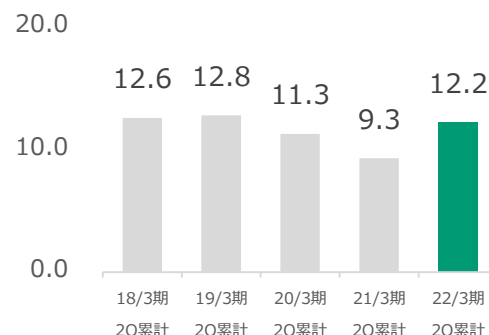
生産・業務用機械



電機・電子部品



金型・工具向け素材



連結損益計算書サマリー (前年同期比)

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比
売上高	6,755	8,363	123.8%
売上総利益	1,173	2,194	187.0%
販管費	1,402	1,516	108.1%
営業利益又は営業損失	▲229	677	-
経常利益又は経常損失	▲122	716	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は四半期純損失	▲83	505	-
超硬製工具類	1,947	2,179	111.9%
超硬製金型類	1,661	1,987	119.6%
その他超硬製品	1,586	2,055	129.5%
超硬以外	1,559	2,140	137.3%

※ 下表は製品区分別の売上構成

連結貸借対照表サマリー

(単位：百万円)

	2021年3月期末	2021年9月期末	前期末比増減
流動資産	13,200	14,375	1,174
固定資産	10,533	10,246	▲286
資産合計	23,733	24,621	887
流動負債	3,176	3,915	739
固定負債	1,717	1,734	16
負債合計	4,893	5,649	756
純資産合計	18,840	18,972	131
負債・純資産合計	23,733	24,621	887

2022年3月期 連結業績見通し

連結業績計画

通期業績予想を上方修正

(2021年8月10日の適時開示より)

営業利益
829.2%
(前期比)

(単位：百万円、下段は構成比)

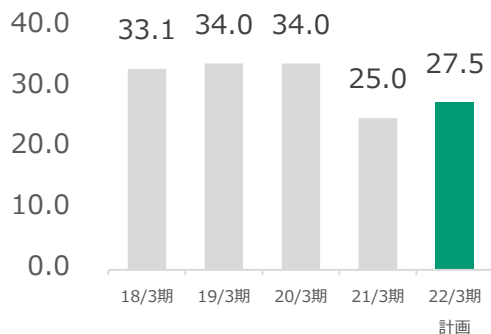
	2021年3月期	2022年3月期	
		計画 (8/10修正)	前期比
売上高	14,247 (100.0%)	16,440 (100.0%)	115.4%
営業利益	96 (0.7%)	800 (4.9%)	829.2%
経常利益	300 (2.1%)	850 (5.2%)	282.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	468 (3.3%)	540 (3.3%)	115.2%
設備投資 (※1 有形固定資産分のみ)	321	1,311	408.1%
減価償却費	1,037	967	93.3%

主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）業績見通し（2022年3月期）

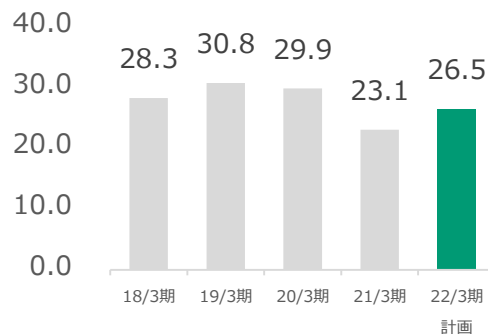
- 半導体需要の拡大が続いており、関連する金型・金型素材が好調に推移すると計画
- 自動車の電動化に伴う関連製品の販売や、海外向け金型素材の販売が増加する見込み

（単位：億円）

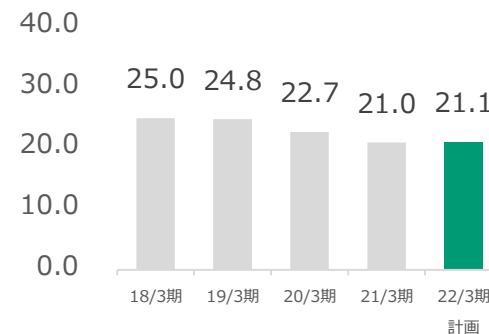
輸送用機械



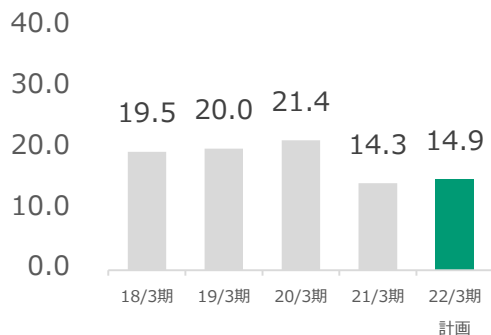
鉄鋼



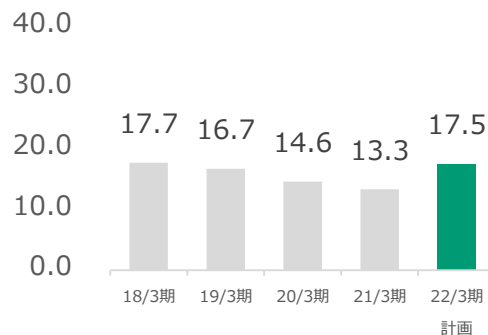
非鉄金属・金属製品



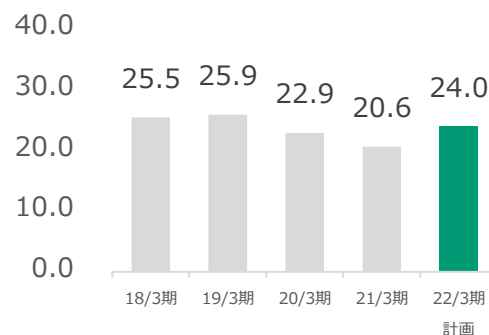
生産・業務用機械



電機・電子部品



金型・工具向け素材



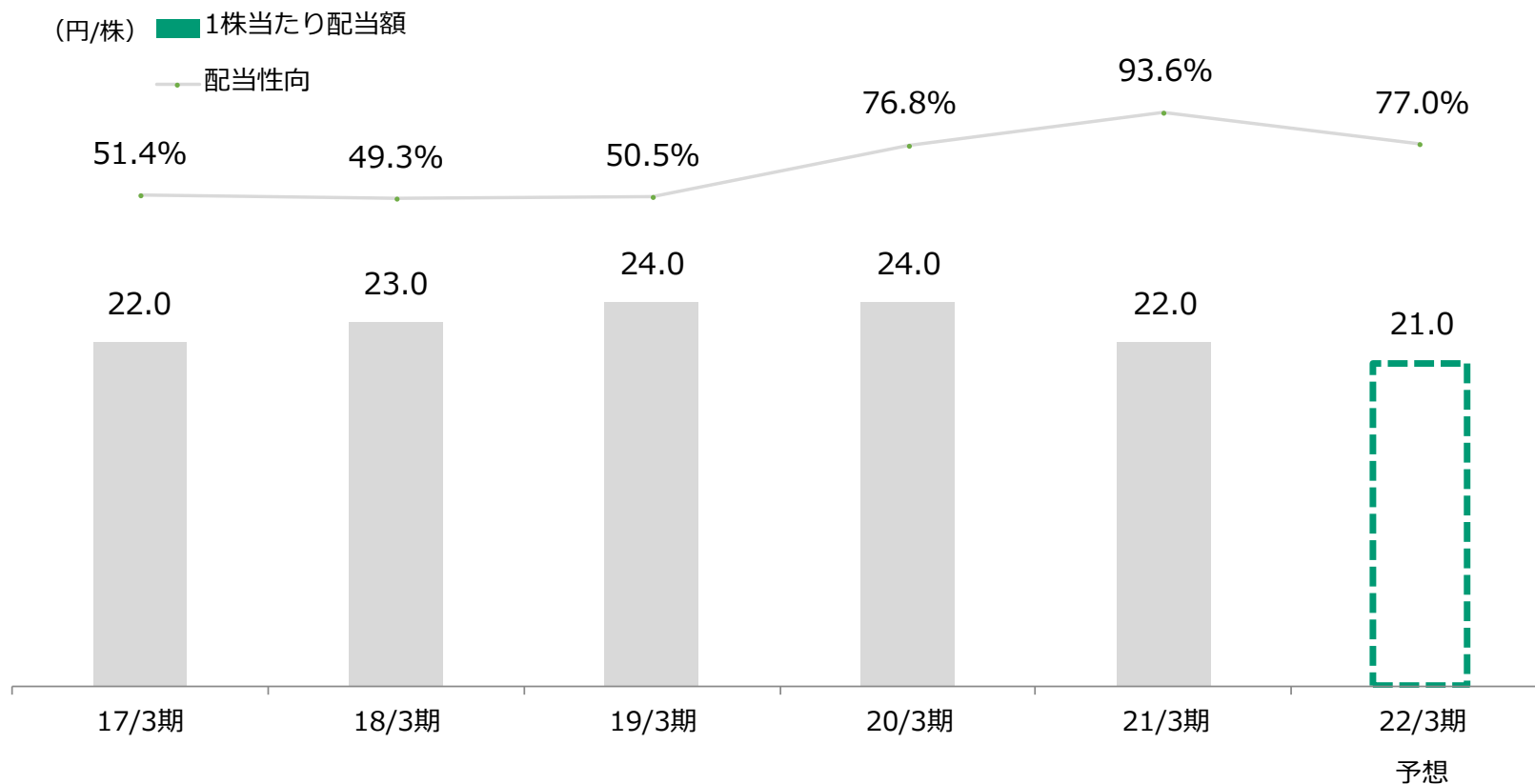
株主還元方針

株主の皆さまに対して安定した配当を継続

年間配当金

21円

[予想]



04 中期経営計画の進捗

中期経営計画（2021-2023年度）成長戦略

— 事業環境見通しと対処すべき課題 —

持続的な成長に向けた、当社を取り巻く事業環境見通しと対処すべき課題

（※計画策定時点）

事業環境見通し

当社の経営に大きな影響を
およぼす可能性のある因子

- ・次世代自動車への転換の加速
- ・コロナ禍による生活・行動・消費等の変化
- ・IoT/AI社会の到来・浸透
- ・日本の人口減少、働き方改革
- ・環境負荷の低減要請の高まり
- ・原材料（レアメタル）の調達リスク
- ・中国・アセアン各国の経済成長、中国の台頭
- ・日本は慢性的な低成長が続く
- ・VUCA(※)と呼ばれる将来予測が困難な状況の加速
- ・SDGsに代表される持続可能な社会形成の重要性の高まり

※VUCA

Volatility (変動性) Uncertainty (不確実性)

Complexity (複雑性) Ambiguity (曖昧性)

4つの英単語の頭文字をとった経営環境を表現する言葉

対処すべき課題

筋肉質な企業体質への転換
中長期の成長基盤の構築

- ・価格競争力の向上
- ・生産性向上（業務効率の向上）
- ・原材料の計画的安定調達（量、価格、品質）
- ・変化する市場環境への対応
（成長分野の主要サプライヤーへ）
- ・人財の確保、育成
- ・持続的成長を支える成長エンジンの開発
（新分野、新顧客、新製品、新材料、新技術等）
- ・社会課題の解決や地域社会との共生を思慮
（ESG/SDGs）した事業活動

重要施策

- 1 生産性向上・業務効率化
- 2 次世代自動車への対応・拡販
- 3 新成長エンジンの創出
- 4 海外事業の強化

中期経営計画（2021-2023年度）： 成長戦略・重要施策

～基本コンセプト～

筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築

1 生産性向上・業務効率化

生産プロセスの改善、ITを活用した業務効率化により、利益が出せる少数精鋭による筋肉質な企業体質を目指す

- 外部コンサルタントを活用した生産効率の改善
- ITを活用した営業手法の導入
- 基幹システム、グループウェア刷新等のITインフラ整備
- 生産拠点の見直しによる拠点再編の検討
- 自立型人財の育成

2 次世代自動車への対応・拡販

市場動向に即したソリューション提供による顧客の主要サプライヤーとしての地位確立

- マーケティングによる選択と集中（モーター関連製品、電池関連製品は特に注力）
- 販売/生産/研究開発部門の三位一体となった取り組み
- 材料開発等による積極的な試作品の投入

3 新成長エンジンの創出

顧客の新たな価値創出につながるソリューション提供により、市場ニーズを先取りした高付加価値製品の開発

- マーケティング部門と製品開発部門の融合
- 大学や外部研究機関、取引先開発部門との共同開発などのオープンイノベーションの推進
- M&A、業務提携の検討

4 海外事業の強化

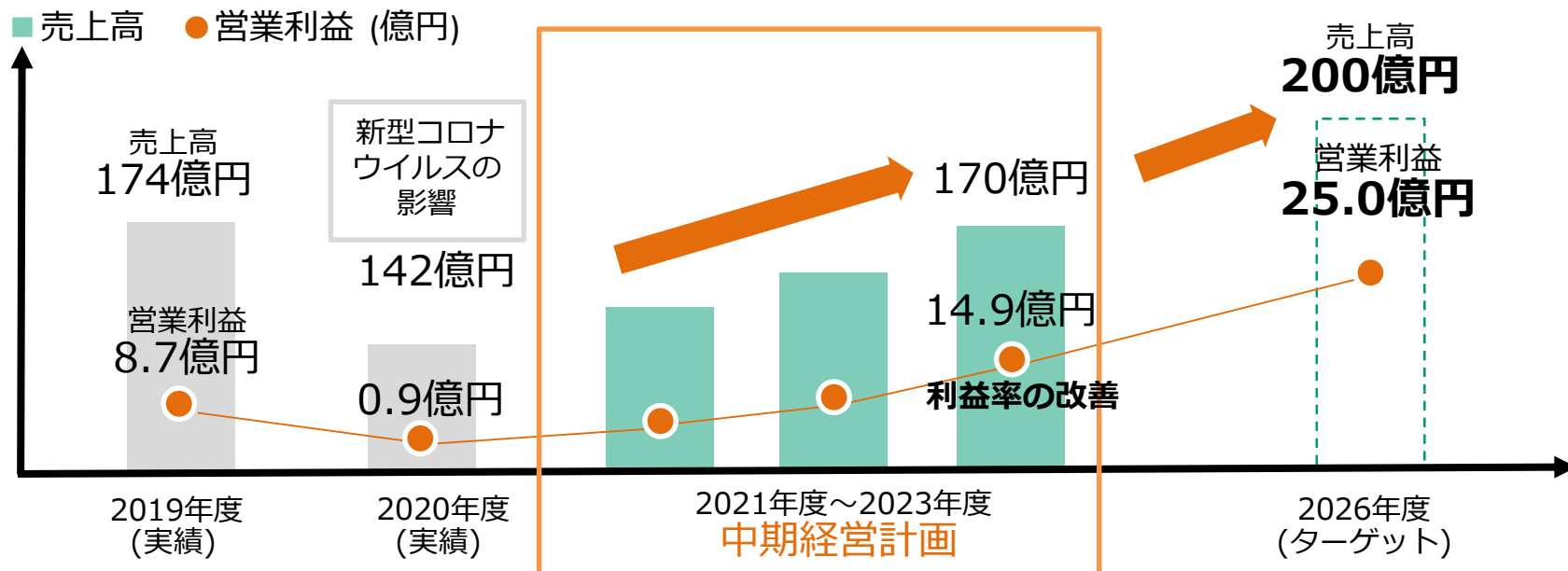
アジア地域を中心とした海外売上高の拡大、管理機能の強化による海外子会社の経営安定化

- ローカル人財の育成、オンラインを活用した販売活動
- 海外製造拠点（タイ、インドネシア）の生産性向上、技術・技能の向上によるアセアン地域における競争力向上
- 中国における販売拠点の拡大

中期経営計画（2021-2023年度）の位置づけ《連結》

- 筋肉質な企業体質への転換
- 次世代新製品・新事業の育成・深耕
- 海外事業の強化

営業利益
14.9億円
 フェーズ1(2023年度)



フェーズ 1 (修正前)

- ・ コロナ禍からの回復
- ・ 筋肉質な企業体質への転換
- ・ 次世代新製品・新事業の育成・深耕
- ・ 海外事業の強化





フェーズ 2

- ・ 売上高拡大、更なる利益(率)の拡大
- ・ **営業利益率12.5%以上**

1 生産性向上・業務効率化

生産効率の改善

- 生産管理の再構築及び作業改善によるコストダウンへの取り組みを推進
設備稼働時間の向上、直接作業時間の向上、リードタイムの短縮
- 活動の全社展開

対象事業所	具体的な施策スケジュール		
	2021年	2022年	2023年
郡山製造所	【22/3期・2Qまでの成果】 ・ 設備稼働時間 17%改善 ・ 直接作業時間 12%改善 ・ リードタイム 27%改善	活動の継続 	
熊本製造所	現状分析(下期)	活動開始 	
岡山製造所		現状分析－活動開始 	
名古屋工場			現状分析－活動開始 

【改善活動の概要】

- ・ 多品種少量生産における作業標準時間の設定
- ・ 工程管理システム活用による日程計画の立案と作業指示の明確化
- ・ 実績原価データを用い進捗の見える化と予実管理の強化
- ・ IE手法による作業分析から課題の抽出とその改善
- ・ スキルマップを用いた技能伝承と力量向上

2 次世代自動車への対応・拡販

市場動向に即したソリューション提供による顧客の主要サプライヤーとしての地位確立

- 販売/生産/研究開発部門の三位一体となった取り組みを継続的に実施



重点拡販分野	該当製品例	施策	施策スケジュール		
			2021年	2022年	2023年
モーター	モーターコア金型	① 市場分析 ② 顧客ニーズの集約 ③ 材種開発&拡充	→	→	→
車載電池	電池関連金型	① 市場分析 ② 海外市場への販売促進	→	→	→
マグネット	粉末成形金型	① 市場分析 ② 海外市場への販売促進	→	→	→

③ 新成長エンジンの創出

優先順位付けを行い、素材・加工技術開発をスピードアップ

分野	概要	材料	開発技術	進捗状況	販売時期(計画)		
					2021年	2022年	2023年
次世代自動車	① モーターコア金型	① 超硬合金	① 新材料 (特許取得)	① 販売中 +新材料開発中	[実線矢印]		
	② 燃料電池部品用高精度金型	② 超硬合金・鋼	② 加工技術	② 超硬：開発中 鋼：販売中	[実線矢印]		
医療用デバイス	① 分析デバイス用成型金型 (マイクロ流路)	① 超硬合金・鋼	① 加工技術	① 試作品評価中	[点線矢印]		
	② 医療用マイクロニードル成形金型	② 鋼・アルミ合金	② 加工技術	② 試作品評価中	[点線矢印]		
環境・エネルギー	① 高圧合成法を用いた触媒	① 水素・酸素発生触媒	① 新材料 (特許取得)	① 試作品評価中	[点線矢印]		
その他	① 高熱膨張レンズ用金型	① Cr基合金	① 新材料 (特許取得)	① 販売中	[実線矢印]		
	② 超硬3D造形素材	② 超硬合金	② 加工技術 (特許取得)	② 技術確立中	[点線矢印]		

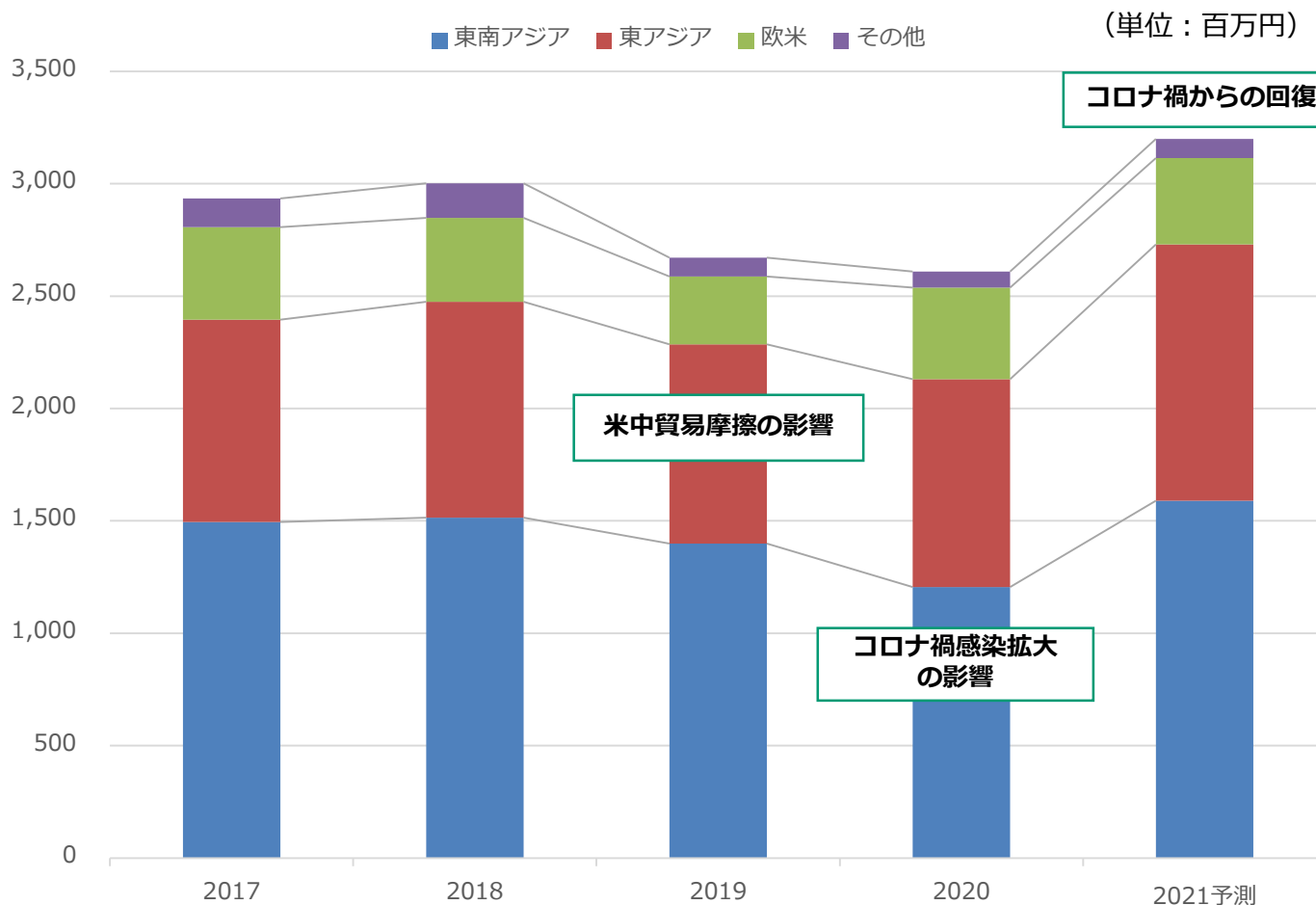
下線：オープンイノベーション実施

 点線矢印：試作・開発中
 実線矢印：販売中

4 海外事業の強化

アジア地域を中心とした海外売上高の拡大

主要地域別海外販売推移



2021年
海外連結売上高予測
約20%増収
(対前年比)

東アジア

- 中国販売子会社の強化
(人員増強/拠点拡充/IT活用)
- 需要が拡大している半導体/光学素子向け金型及び素材の拡販
- 商社活用による拡販

東南アジア

- タイ/インドネシア製造子会社の競争力向上
(生産性及び技術/技能向上)
- 主要な自動車部品/半導体関連以外の市場開拓
- マレーシア販売子会社によるベトナムなど周辺国への拡販

ESGの取り組み

Environment 環境

- 環境方針の策定・開示
- 環境マネジメントシステムの認証取得
(2004年5月にISO14001認証を取得し、継続して登録)
- 環境調和型製品の提供
(日本機械工具工業会による環境調和認定製品7種類)
- 環境配慮製品への切り替え
(FSC認証紙やベジタブルインキなど)
- 社用車のエコカーへの切り替え
(2021年3月時点で5割切り替え済み)
- 環境関連法令順守の維持・継続(排水、排気、騒音、廃棄物、化学物質等)

Social 社会

- 地域社会との共生
(献血活動の継続、おたオープンファクトリー)
- 福祉施設への寄付・慰問
- 投資家との対話
- 品質マネジメントシステム認証取得
(2002年11月にISO9001認証取得し、継続して登録)
- 顧客クレームのデータ化、対応策の整備

Governance 統治

- 企業理念、大切にしている価値観、長期ビジョンの策定と公表
- コンプライアンス・リスクマネジメント対応
(2か月に1回、コロナ対応含め対策会議を実施)
- コーポレート・ガバナンス報告書を適時更新し開示
- BCP(事業継続計画)対応
- 複数の独立社外取締役・監査役の選任
- 指名・報酬委員会の設置

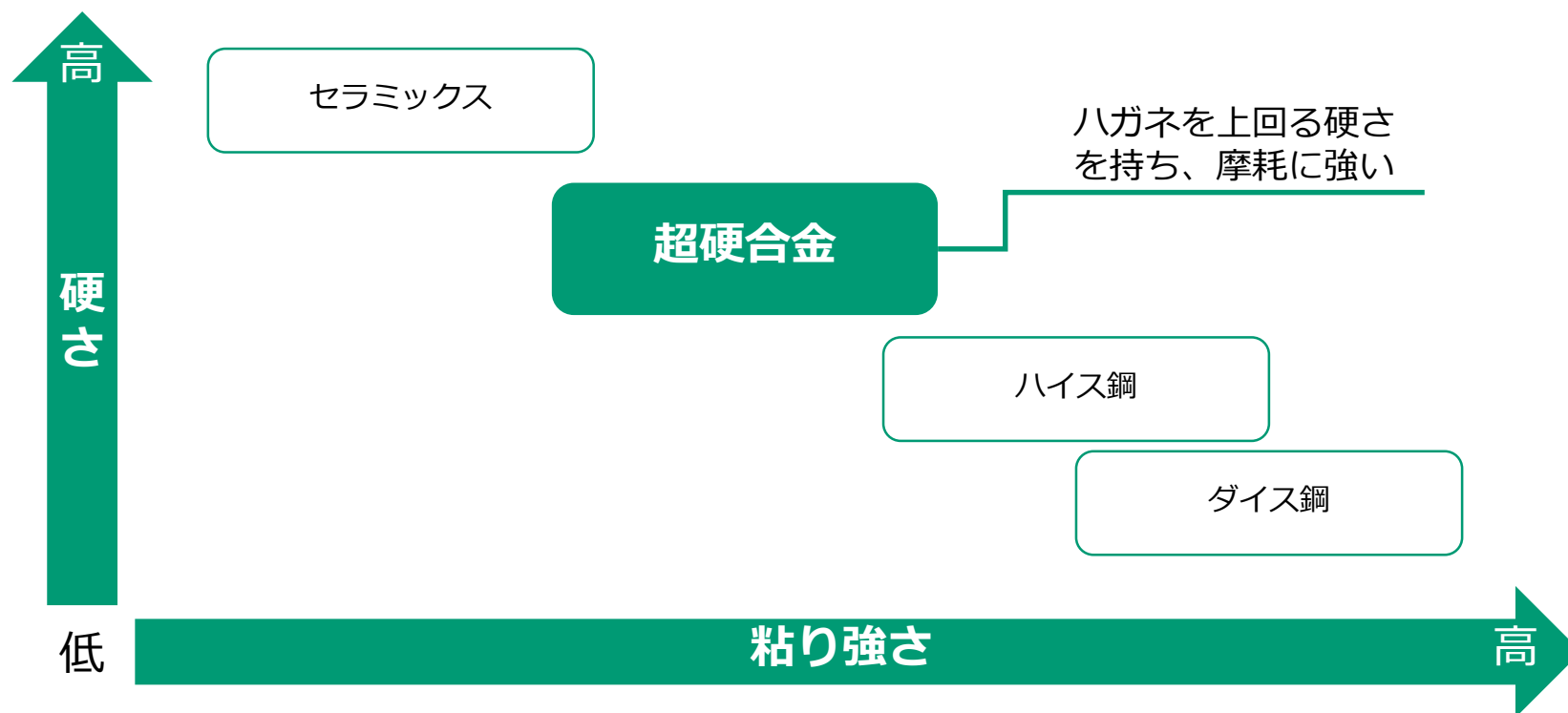
05

参考資料

超硬合金とは？

炭化タングステンWCをバインダ(結合剤)のコバルトCoやニッケルNiで焼き固めた硬質な合金

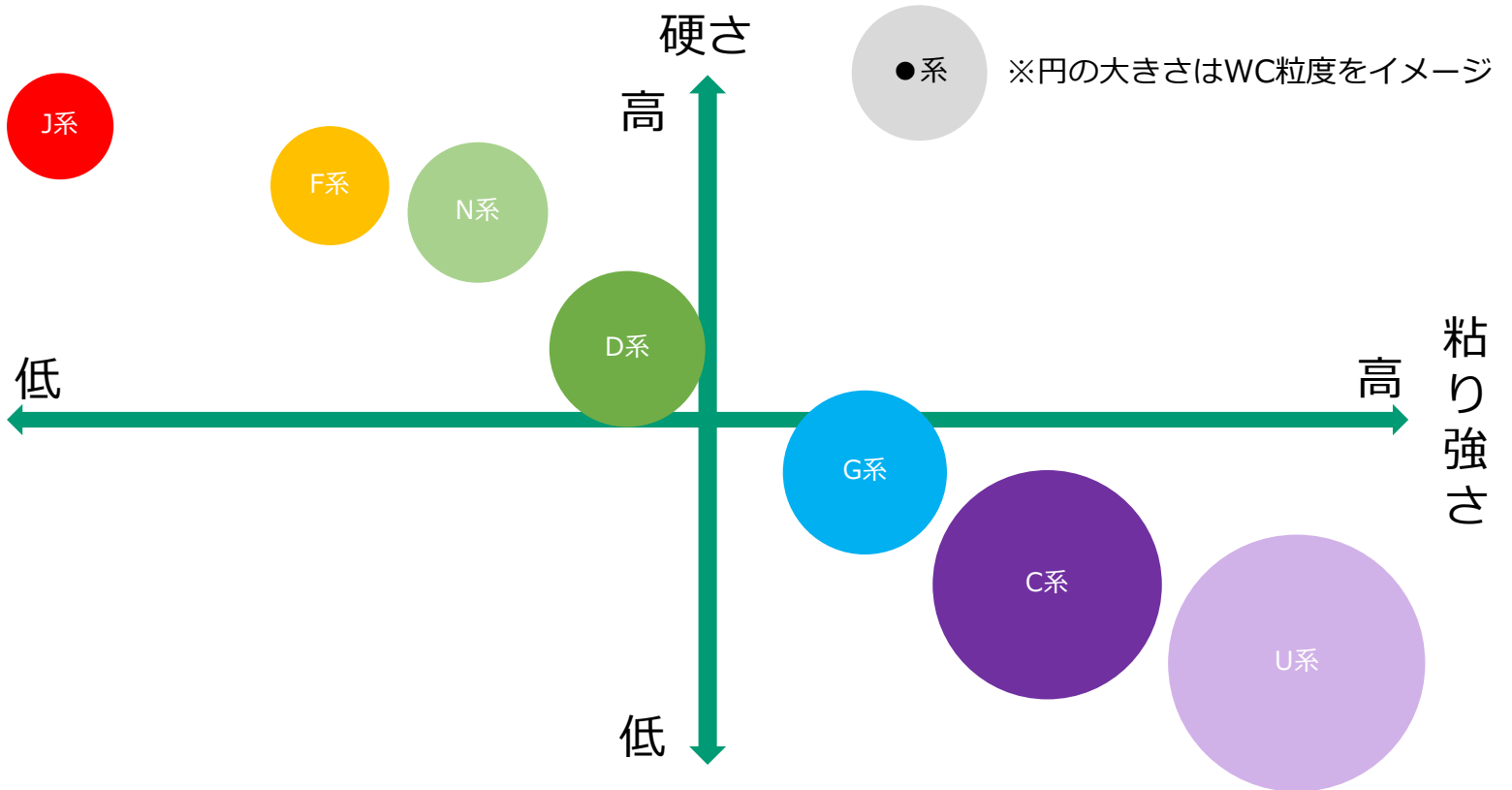
WC+Co Ni



当社超硬合金の特長？

顧客ごとのニーズに合った豊富な材種

豊富な
超硬合金材種を
ラインナップ



代表的な製品例

引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用

当社製品



ダイス・プラグ



ロール

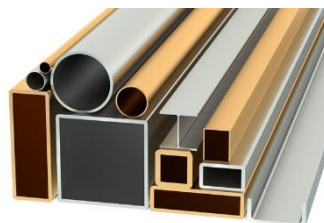
成形部材



パイプ



線材



异形管

最終製品例



輸送用機械



インフラ設備

代表的な製品例

飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラのレンズを生産する金型

当社製品



製缶工具

最終製品例



飲料缶・一般食缶

当社製品



光学素子成形用金型

最終製品例



スマートフォンレンズ カメラレンズ



監視カメラ

中長期的成長に向けた研究開発の方向性

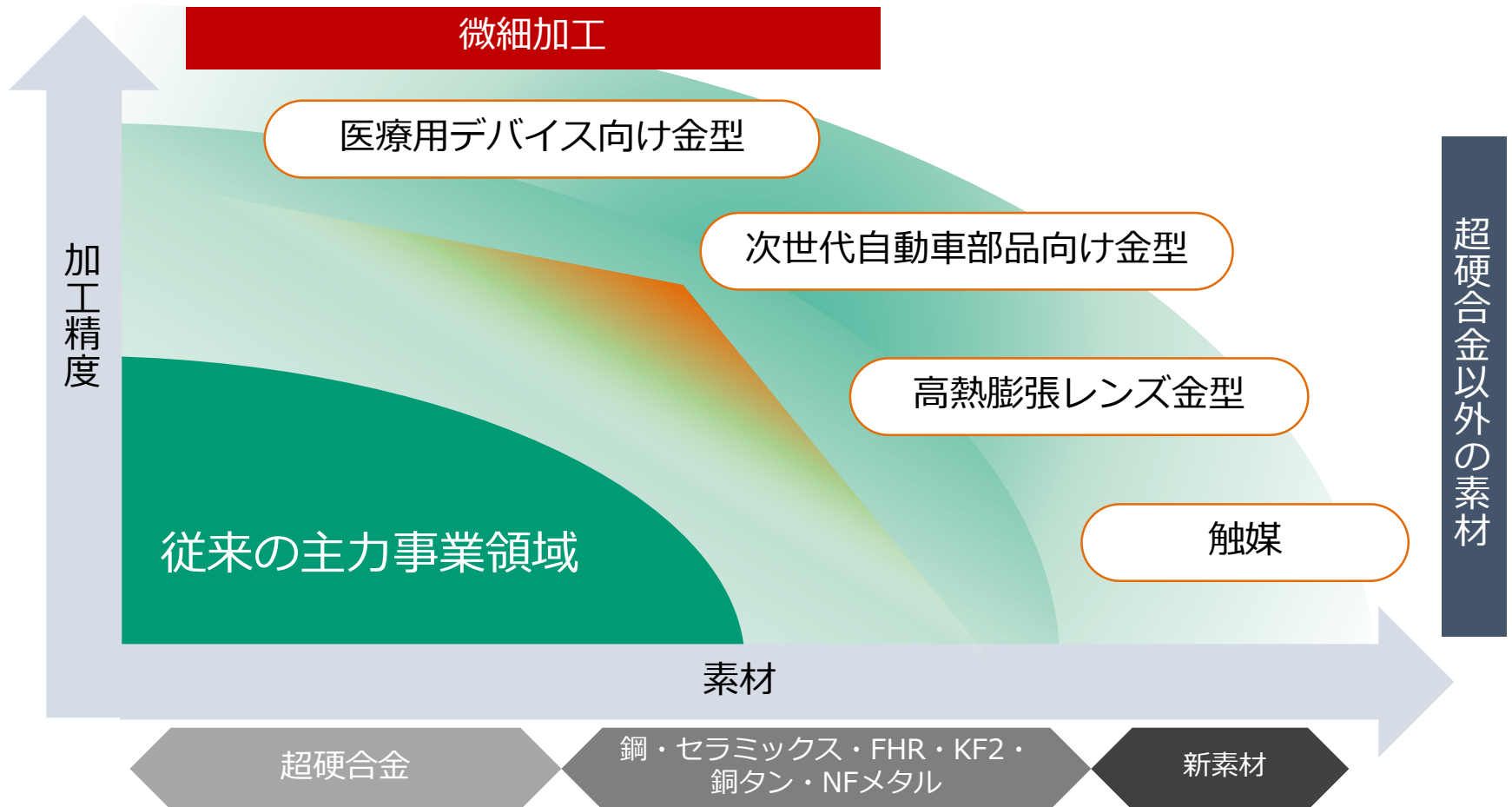
粉末冶金技術を駆使

新材料の研究開発を強化し、耐摩耗工具以外へ進出

超精密加工技術

超精密加工技術を用いて研究開発を進展させ、新しい産業分野を開拓

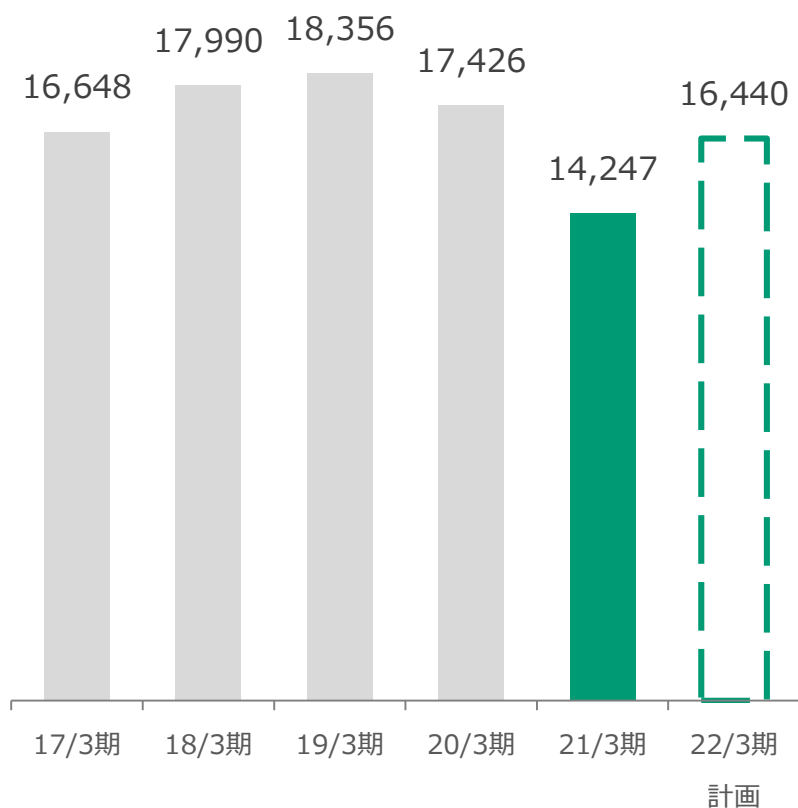
新成長エンジンの創出



業績の推移 1/3

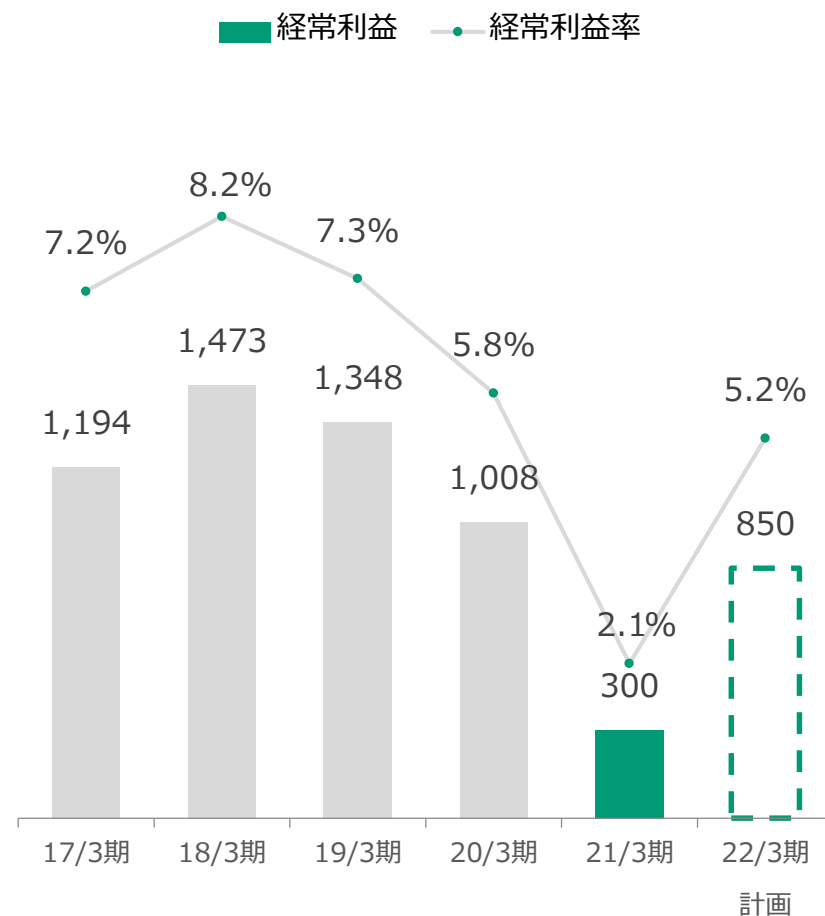
売上高

(百万円)



経常利益

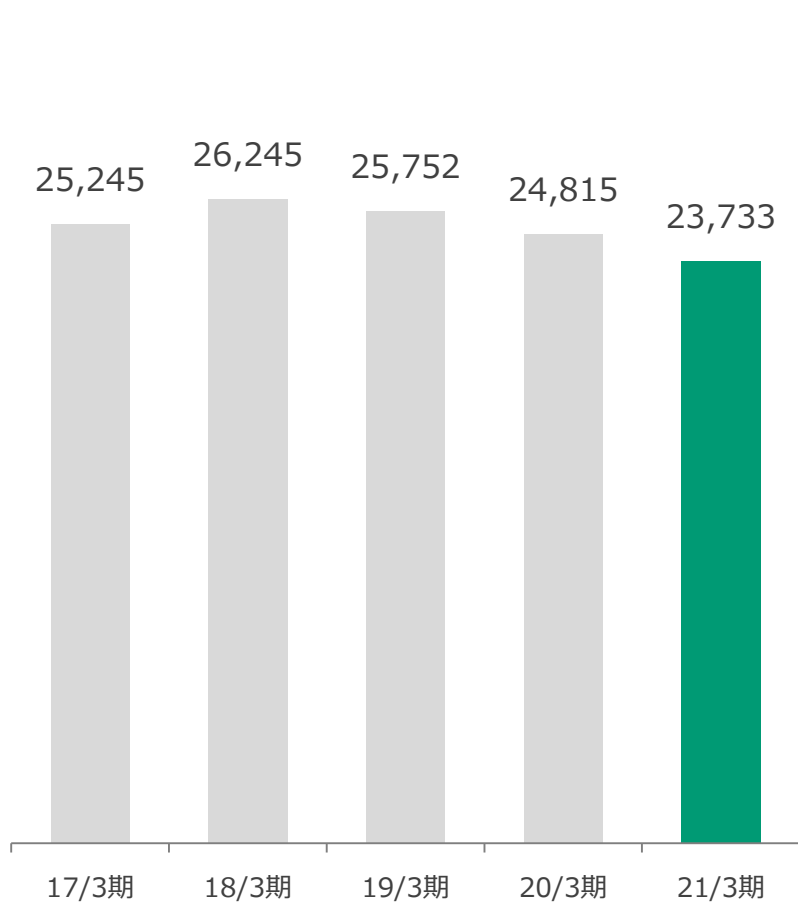
(百万円)



業績の推移 2/3

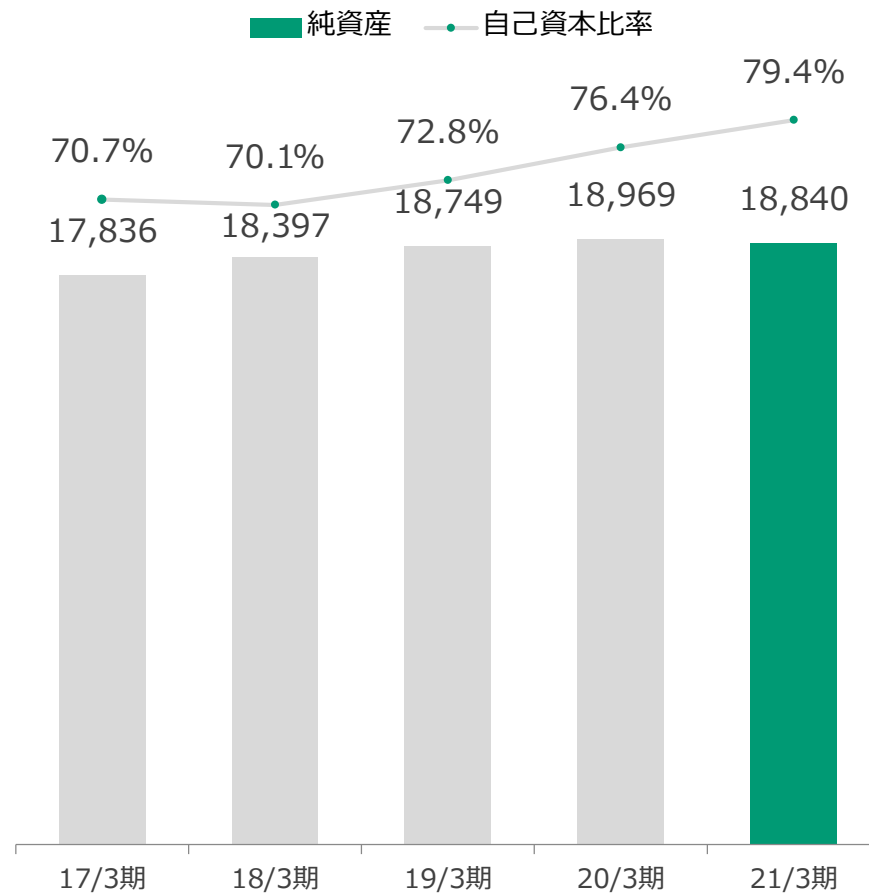
総資産

(百万円)



純資産

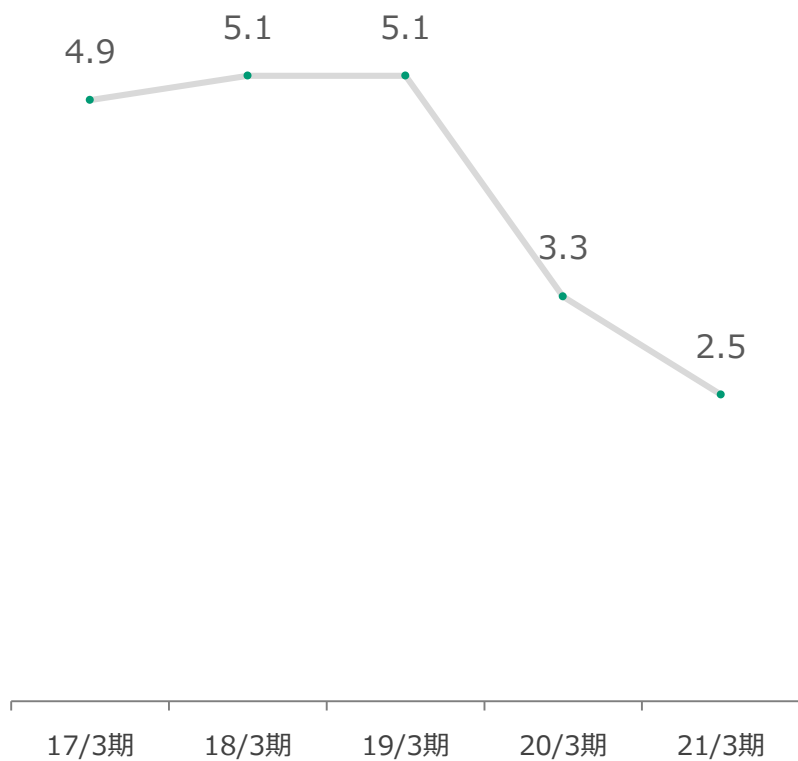
(百万円)



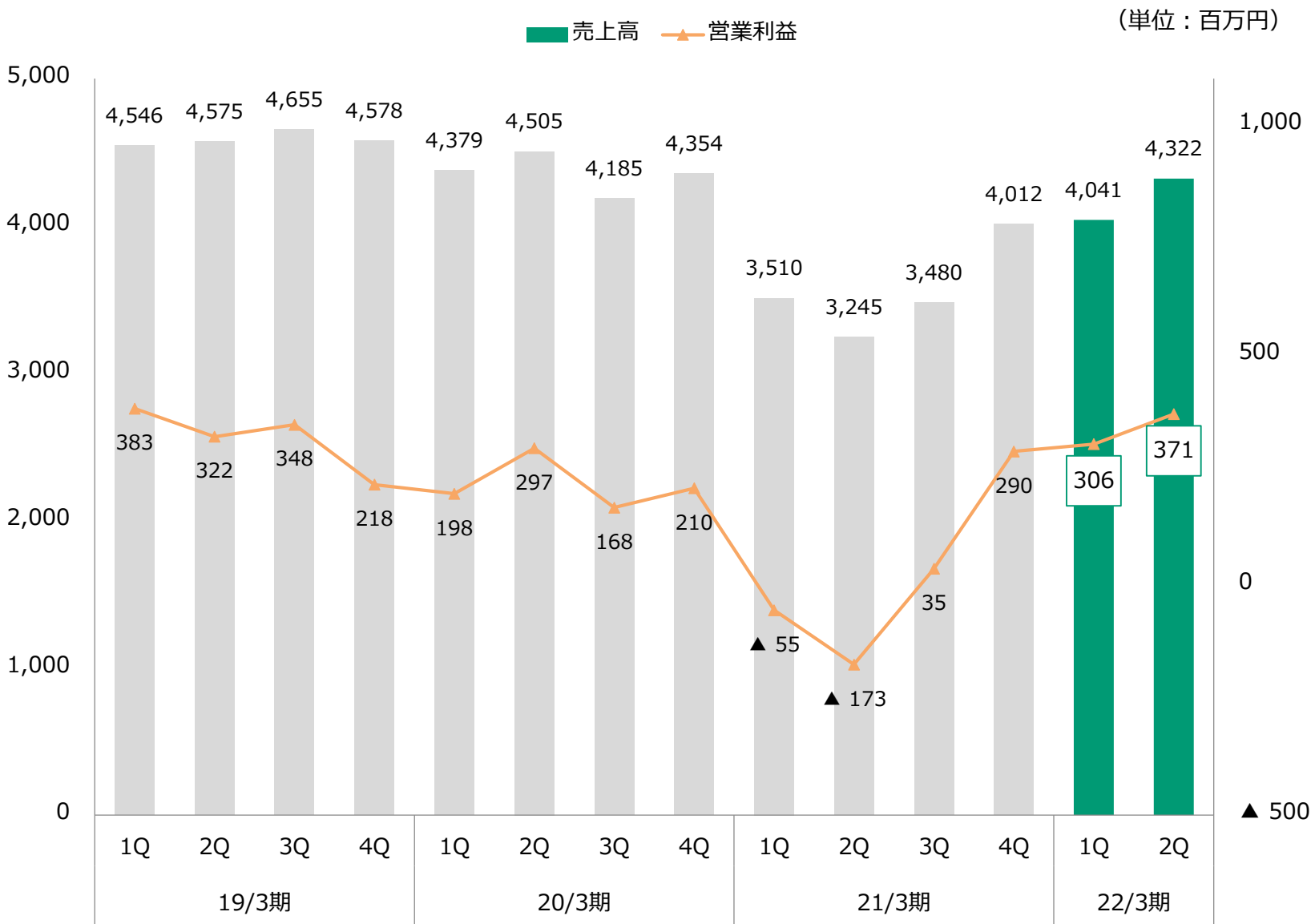
業績の推移 3/3

ROE

(%)



連結四半期業績推移



●月刊生産財マーケティング 2021年8月3日

新社長 shinshacho

富士ダイス 取締役会長の御挨拶(真・金アーク) 富士ダイス 取締役会長の御挨拶(真・金アーク) 1961年芝罘工科大学卒業。富士ダイス入社。2014年取締役生産本部長、16年常務取締役本部長、20年11月副社長、21年4月から現職。1958年生まれ。東京都生まれの62歳。

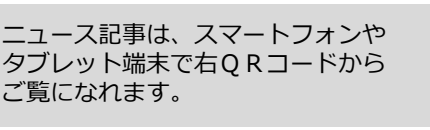


1961年芝罘工科大学卒業。富士ダイス入社。2014年取締役生産本部長、16年常務取締役本部長、20年11月副社長、21年4月から現職。1958年生まれ。東京都生まれの62歳。

次期に重視するのは、主要顧客... 富士ダイス 恒之くほらうねきさ

ニュース記事は、スマートフォンやタブレット端末で右QRコードからご覧になれます。

さらなる高みを指す 「筋肉質」へと肉體改造 富士ダイス 久保井 恒之くほらうねきさ



●鉄鋼新聞 2021年9月10日

「新中期経営計画では4つの重要施策を挙げている。その中の、次世代自動車は投資テーマとして注目度が高い。」 富士ダイス 久保井 恒之くほらうねきさ

富士ダイスの新中期成長戦略

「次世代自動車向けに、これまで以上に注力していく。」 富士ダイス 久保井 恒之くほらうねきさ



久保井 恒之社長に聞く

「新中期成長戦略」の中心は、次世代自動車向けに注力していくこと。富士ダイスは、これまで以上に注力していく。久保井 恒之くほらうねきさ

●日本証券新聞 2021年9月29日

トップインタビュー 代表取締役社長 久保井恒之氏(後編)

富士ダイス



圧粉用金型(マグネット製品向け)

中長期の成長基盤の構築へ

「新中期経営計画では4つの重要施策を挙げている。その中の、次世代自動車は投資テーマとして注目度が高い。」 富士ダイス 久保井 恒之くほらうねきさ



電池用金型

「新中期成長戦略」の中心は、次世代自動車向けに注力していくこと。富士ダイスは、これまで以上に注力していく。久保井 恒之くほらうねきさ

免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記述されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。